

2025 年 1 月 14 日

## 大塚製薬工場、経口補水液オーエスワン®シリーズ 300mL PET ボトルを 100%リサイクル PET ボトルへ切り替え

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:高木 修一、以下「大塚製薬工場」)は、経口補水液オーエスワン®シリーズの 300mL PET ボトルを 2025 年 2 月より順次 100%リサイクル PET ボトル<sup>※1</sup>に切り替えます。

これにより、温室効果ガス(GHG)排出量は 1 本あたり 34%<sup>※2</sup>(年間約 133トン<sup>※3</sup>)削減される見込みです。また、同シリーズの 500mL PET ボトルに関しても、準備が整い次第 100%リサイクル PET ボトルへの切り替えを行います。

大塚グループでは持続可能な社会の実現を目指し、「大塚グループ プラスチックステートメント」を制定しており、PET ボトルにおけるリサイクル原料と植物由来原料の使用を促進し、2030 年までにリサイクル原料及び植物由来原料の使用割合を 100%とする目標を掲げています。当社もこの取り組みを推進し、石油原料から作られるプラスチック量および温室効果ガスの削減に取り組んでまいります。



大塚製薬工場は、輸液のリーディングカンパニーとして、輸液におけるノウハウを活かし、世界保健機関(World Health Organization: WHO)の提唱する経口補水療法(Oral Rehydration Therapy: ORT)の考えに基づいた製品として、2001 年にオーエスワンを発売しました。オーエスワンは 2004 年に日本で初めて経口補水液として特別用途食品個別評価型病者用食品の表示許可を受け、軽度から中等度の脱水症のための食事療法にご活用いただいております。私たちは、これからも製品提供はもとより、脱水症や熱中症による事故や救急搬送をゼロにすることを目指し、脱水症や熱中症における水・電解質補給方法の一つである経口補水療法に関する正しい知識の普及に努めてまいります。

大塚グループは、"Otsuka-people creating new products for better health worldwide"の企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

※1. 収集されたペットボトルからマテリアルリサイクルにより再生された PET 樹脂を使用したボトル

※2. 大日本印刷(DNP)調べ(2024 年 12 月調査)

※3. 2025 年生産計画に基づく試算

## 【大塚グループ プラスチックステートメント】

### 基本的な考え方

大塚グループが使用しているプラスチック製容器包装等のほとんどを飲料用 PET ボトルが占めているため、PET ボトルの資源循環を推進することが化石燃料への依存を軽減し、地球環境の保全に貢献すると考えております。大塚グループはその原料にリサイクル原料や植物由来原料を使用することによって、グローバルにおいて持続可能な PET 原料の割合を 2030 年までに 100%、2050 年までに消費者商品の全製品を対象に化石資源由来原料の使用をゼロにすることを目指します。

### プラスチックビジョン 2050

「消費者商品の全製品を対象に持続可能な社会に対応した容器包装の使用を目指します。」

- 化石資源由来プラスチックゼロ
- 植物由来原料・リサイクル原料・生分解性原料の使用促進
- リユース容器の使用促進

### 2030 年目標

PET ボトルにおけるリサイクル原料と植物由来原料の使用を促進し、2030 年までにリサイクル原料および植物由来原料の使用割合をグローバルで 100% にします。

飲料容器として新たな代替素材（紙製容器など）の採用と、既存の缶容器の使用増加を目指します。

飲料容器の再利用モデルとして、循環型販売モデルによるリユース容器の採用や既存のパウダータイプ製品等のマイボトル・スクイズボトルへの活用を継続・促進していきます。

飲料容器のリサイクル化と並行して、代替素材容器への活用を推進します。

PET ボトルの資源循環を推進するためには、使用済 PET ボトルを再び PET ボトルの原料として利用する必要があります。大塚グループでは、グローバルで使用済 PET ボトルを適正に回収し再利用する取り組みを、多様なステークホルダーと協働して推進していきます。

## 会社概要

### 株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1969 年 10 月 7 日 (創立 1921 年 9 月 1 日)  
資 本 金 : 8,000 万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 高木 修一  
本 社 所 在 地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115  
従 業 員 数 : 2,350 名 (2024 年 12 月 31 日現在)  
事 業 内 容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の  
製造・販売および輸出入  
U R L : <https://www.otsukakj.jp/>